

2024 年度 第 1 回学長選考・監察会議 議事要旨

日 時 : 2024 年 6 月 18 日 (火) 15:15~16:00

場 所 : 戸畑キャンパス 百周年中村記念館 2 階 特別会議室およびオンライン

出 欠 : 7/8 名の出席により会議成立 (欠席者: 前田委員、 陪席者: 近藤監事、林田監事)

	議題	審議	結果	備考
(1)	学長選考・監察会議議長の選出	○	互選より高原委員が議長に選出された	
(2)	議長の職務代行	○	議長により前田委員を指名し、承認	
(3)	学長選考・監察会議規程の改正	○	承認	
(4)	学長の業務執行状況の確認	○	承認	○今年度の進め方およびスケジュールについて確認した。 ○同日に開催された経営協議会での学長の業務執行状況の報告に対する学内委員および監事からコメントを求めた (※別紙参照_経営協議会における学内委員からのコメント含む)
(5)	次期学長選考に係る検討課題等			○高原議長より検討課題のポイントに関し、以下の意見が述べられ、次回以降の学長選考・監察会議において議論していくこととなった。 ・ポイント 1: 三谷学長就任時と再任審査もある今回で「望ましい学長」を変更することに違和感があるため、現状のママでいいのでは。 ・ポイント 2: 「再任を認める」と学長選考・監察会議が決めたのであれば、改めて現学長への質疑応答をおこなう必要はないのでは。 ・ポイント 3: 現行ルールで問題ないのでは。 ・ポイント 4: 現行ルールで問題ないのでは。 ・ポイント 5: 意向調査について、前回は議論があり不要なのでは?との意見もあったが、学内委員から学内の職員からの意見聴取も大切なのではとの意見があったと記憶している。意向調査は行う方向で良いのでは。 ・ポイント 6: 最終的に 1 名の学長候補者を先行する上でやはり質疑応答は必要では。 ○今回の学長選考から「再任の審査」を行うこととなり、そこが大きな分岐点となるため、現時点ではこれら議論のポイントがあることの共有に留め、まずは再任の審査を行い、再任不可の場合にこれら細かな点を議論すべきではとの意見があった。

議題 4 学長の業務執行状況の確認

各委員（学内委員）および監事からのコメントは以下の通り

※学外委員からのコメントは同日開催の令和 6 年度第 1 回九州工業大学経営協議会議事要旨を参照

- （学内委員） 部局を含めまわりの意見もよく聞くことで独断専行ではないイニシアチブを発揮し、積極的な改革を進めていることを高く評価している。
- （学内委員） 本部長や部局長と密なコミュニケーションを取り、大学の目標達成に向け円滑に進めている。今期中期目標で情報工学部を含め全学的な国際化が進むものと期待している。
- （学内委員） 当初は本部制の導入に関し、生命体工学研究科において大きな混乱が生じており不安を持っていたが、現状はうまくいっているように感じている。
- （学内委員） 国際的な広がり、展開の仕方については非常に目覚ましいものがあり、特にコロナ禍後の国際展開を見ると本学がいい方向に向かっていると感じている。
- （監事） 非常にアクティブで、かつ外部から様々なものを取り入れながら、九工大を世界レベルにしようという熱意を感じる。3つのキャンパスをどのように束ねていくかというところで多くの悩みを持っているかとおもうが、3年目を迎えた本部制も定着しつつある。大学としてのビジョンとその達成度を意識し、それを可視化していくことも学内外の納得度を高めるうえでは重要。外部の意見をよく聞き、学びながらリーダーシップを取っているという印象。
- （監事） 様々なことをかなり押し込みながら進めている印象。リーダーが走っているときに周りついてきていることが大切なので、周りの方向性も確認しながら進めてほしい。また、多くの成果を出しているにもかかわらず、それが地域の方々に伝わっていないことがもったいない。成果はどんどん発信して九工大の存在感をもっと出してほしい。